

## 基調講演

# 「観光コンベンションがリードする地方創生 —スポーツ・コンベンションが生む3つのエネルギー—」

高岡 敦史氏

岡山大学大学院 教育学研究科講師

基調講演は、岡山大学大学院の教育学研究科講師の高岡敦史氏が、各地で展開しているスポーツ・コンベンションの事例を紹介しながら、これからのスポーツ・コンベンションの可能性と展望を語っていただきました。



## 東京オリンピックの経済普及効果は伸び続けるか？

皆様こんにちは。岡山大学の高岡と申します。本日の講演の機会をいただき、私なりに岡山でもスポーツのまちづくりに関わらせていただいておりますが、観光学が専門ではありませんし、スポーツ経営学と言いましても金目の話をする専門ではありません。どちらかと言いますとスポーツの価値を高め、まちを元気にすると言いますか、地域生活を豊かにしていくにはどうしたらいいかということの主戦場にいる研究者です。

本日、皆さんにお考え頂きたい事、発問、問いですが、スポーツ・コンベンションをどのようにデザインすると地方創生につながるのか、これをお考え頂きたい。方法論的懐疑と言いますか、敢えて疑ってかかってみましょうということです。ス

ポーツ・コンベンションにまちや市民にとっての公益的価値はあるのか、という問いです。

地方自治体も地域の活性化、あるいは経済活性化ということに向けてスポーツ・イベントの誘致、開催、プロスポーツへの支援等様々なことをしてきております。地元企業もそこに何かしらの支援を一生懸命していくと。これはまちが元気になるためだということですが、その元々の根拠になる公益的な価値、公共的価値はどこにあるのか、そういう事を一度疑ってみようということです。有体に言えば経済波及効果あるいは交流人口の増加、そのことが特にスポーツ・コンベンション、スポーツ・ツーリズムに関しては多く主張されるわけですが、本当にそうか？ということです。それだけでいいのか、ということ。

今日は北海道から沖縄まで観光コンベンションの専門の